



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和7年6月30日 第4号
小笠原村立小笠原中学校
校長 武内 亮

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



「父島ノ皆サン サヨウナラ」

副校長 武田 悠

胸が締め付けられるような思いでした——。

6月14日・15日の2日間、2年生の生徒と共に硫黄島訪島事業に参加してきました。昨年度の洋上慰霊祭、夏に行われた小笠原村の硫黄島訪島事業を含めると、私が直接硫黄島を目にするのはこれで3回目でしたが、今まで以上に寂寞とした感情がこみ上げてきました。硫黄島で起きた出来事や関わった人々について学べば学ぶほど、この島のたたずむ姿に心揺さぶられるのでしょうか。硫黄島が静かに何かを語りかけているような気がして、私は自然と目に涙が浮かびました。

昨年度の本校の平和学習でお世話になった方々の一人に、酒井聡平さんという新聞記者（戦争の歴史の風化に抗うため、土日は「旧聞記者」と名乗られています。）の方がいらっしゃいます。酒井さんは硫黄島に4度渡り、徹底調査した成果をまとめ、「硫黄島上陸 友軍ハ地下ニ在リ」という著書を刊行されました。この著書が元となり、酒井さんは優れた国際報道を顕彰する「2024年度山本美香記念国際ジャーナリスト賞」に選ばれています。

この作品の中で、激戦の最中、硫黄島の通信兵が父島の通信隊に電報を送った次のようなエピソードが紹介されています。

最後の総攻撃までの残された時間で、ある行動に出た通信兵がいた。大本営ではなく、父島通信隊に向けた通信を始めたのだ。硫黄島の通信兵の一部は元々、父島通信隊の所属だった。彼らにとって、父島側の通信機の前にいるのは、顔なじみの戦友たちだった。

「サヨナラ サヨナラ オセワニナリマシタ」

「〇〇ニヨロシク △△ニヨロシク……」

別れを伝えたい人たちの名前と住所を次々と打ち込んだ。父島側から返信が届いたが、応じる余裕はない。「ジカンガナイ ジカンガナイ」と発信した。（中略）戦いの実相を最後の最後まで伝えようとした。そして 23日午後5時、別れの電報を放った。

「父島ノ皆サン サヨウナラ」

（酒井聡平、「硫黄島上陸 友軍ハ地下ニ在リ」、講談社、2023）

総攻撃は、3日後の3月26日。部隊は敵陣に突撃し、壊滅しました。36日間における組織的戦闘で守備隊2万3000人のうち、戦死者は2万2000人に上りました。そして、今なお1万人の遺骨が見つからず、硫黄島の地に眠ったままとなっています。

「戦後80年」——。今年は節目の年であるがゆえに、様々なメディアでこの言葉が繰り返し聞かれます。しかし、「終戦とは戦闘の終了に過ぎず、戦禍は終わらない。」と酒井さんは述べています。硫黄島に眠る1万人の兵士、いまだ故郷に帰ることが叶わない旧島民の方々にとっては、戦争は終わっていないのです。硫黄島は戦争を繰り返さないための歴史的教訓が刻まれた島です。だからこそ、硫黄島に触れたすべての人々は、それをさらに伝え広げていく使命があると思うのです。だんだんと遠ざかる硫黄島を眺めながら、後世に歴史を伝えていくことを約束するとともに、この島との再会を願って父島の文化にならい、私は心の中でつぶやきました。

「硫黄島の皆さん、行ってきます。」

令和7年度 修学旅行を終えて

第3学年主任

今年度の修学旅行は、令和7年6月3日(火)から14日(土)までの11泊12日の行程で行われました。今年度の修学旅行のテーマは「発信」。自分たちの住んでいる小笠原という土地のことを多くの人に発信すること、また人々が発信しているものを見たり聞いたりしてその発信の方法を学ぶことなどを通じて、コミュニケーション能力やプレゼンテーションスキルの向上を目指しました。昨年度までと違った新たな取り組みとして、企業訪問や千代田区立中学校への訪問を始め、大阪関西万博やUSJにも行きました。

関西方面ではほぼ班行動だったので、事前に下調べをし、班で協力して行動しました。興味や関心、疲れ具合、トイレのタイミングなど、複数の人が一緒に行動すると、なかなか思うようにはいかないこともありますが、そのような関わりの中から多くを学ぶことができたと思います。また、最初はできなかった「ほう・れん・そう(報告・連絡・相談)」も、きちんとできるようになり、短い時間の中で大きく成長したと感じています。

東京都内では、TGG、上級学校訪問、企業訪問、千代田区立神田一橋中学校訪問など、緊張する場面が続きました。TGGでは、最初は恥ずかしくて英語でコミュニケーションをとる一歩が出なかった人が、最後には生き生きと英語を話してニュース番組を作っていました。上級学校訪問では、下調べを甘く考え、道に迷ったりする人もいましたが、人に聞いたり、地図を見たりして、全員が上級学校へ行き、無事に島嶼会館へ戻ることができました。セールスフォースジャパン様にご協力いただいた企業訪問では、丸の内に建つオフィスの見学を始め、社員の方々のセッションや、事前に作っていった小笠原の紹介プレゼンテーションをして社員の方々からフィードバックをいただくことができました。仕事をするということ、どういう学生時代を過ごすかということなど、班ごとで話を進める中で、自分から質問をしている生徒も多くいて、自分の将来に目を向けることができました。プレゼンテーションでは、社員の方のアドバイスを聞いて、その場で少しずつ変更を加え、豊かな表現になっていたところが、とても印象的でした。宿舎に帰ってからも、発表原稿を手直りする班もあり、多くの刺激をいただきました。

神田一橋中との交流では、初めての給食をいただき、配膳についても体験させていただきました。神田一橋中の生徒と一緒に班になり、給食をいただくのは緊張しましたが、色々な話をして盛り上がっている班もありました。発表は、体育館で3年生100人の前で行いました。企業訪問時の反省を活かし、堂々とプレゼンテーションをし、その後の質疑応答にも立派に答えることができていました。

全体を通じて天気にも恵まれ、全行程を無事に終えることができました。初めての経験は、緊張もするし、勇気も必要です。時には失敗しながらも、この12日という時間の中でこれだけ変化するのかと、中学生の「吸収力」と「成長力」に心が動いた12日間でした。多くの方のご協力と支えがなければ、できなかった12日間だと思います。この修学旅行を実施するにあたり、保護者の皆様、地域の皆様、関係各所の皆様をはじめ、ご協力いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。



第2学年 硫黄島訪島事業

第2学年主任

6月14日(土)、15日(日)に行われた硫黄島訪島事業に向けて、昨年から多くの方々にご協力をいただいて学習をしてきました。先の大戦で実際に使用されたものを間近に見たり、触れたりしたことで【戦争】をより身近に感じました。小笠原の歴史を調べていくことで、戦前の硫黄島は、豊かな生活を送っていたこと、産業や生活文化も発展していたことを知り、それらを一瞬にしてなくしてしまう戦争の悲惨さを感じました。これまで学習したことを踏まえて、西澤湊さんと山田真生さんが洋上慰霊祭での【誓いの言葉】を述べ、次のように締めくくりました。

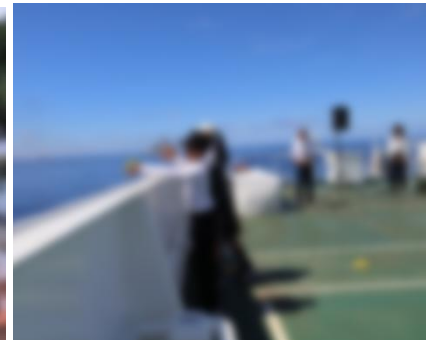
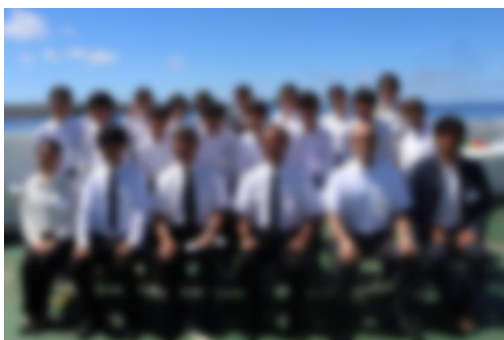
私たちは、今回の学習を通して2つの誓いを立てます。

1つめは、今現在、平和に過ごせていることが当たり前ではないと思い、この日本で戦争があったということを忘れないで生きていくということです。戦争は怖いものであること、さらに想像以上の人の命を失ってしまうことと今までの生活や文化などを一瞬にして壊してしまうものであり、もとの生活やご遺族の方々の気持ちを思うと、ずっと心に残ってしまうことでもあるからです。

2つめは、今回学習したことを私たちだけで留めずに、同世代をはじめ、多くの人と平和について広く伝えることをしていくということです。世界に目を向けると、物事を武力で解決することがまだまだあります。今すぐにこの世界を平和にすることは難しくても、一人一人に少しずつ優しさが生まれれば、世の中から戦争はなくなり、平和に近づくと思います。

以上、2つの誓いを実現し、微力ながらも多くの人と力を合わせて平和な日本・世界を築く担い手になっていきます。

生徒たちにとって貴重な学習をすることができました。ご尽力いただきましてありがとうございます。



第1学年 外来種駆除活動

第1学年主任

5月30日に電信山遊歩道にて外来種駆除活動を行いました。1年生は外来種駆除活動に向けて、父島で見られる固有種の調べ学習を行った後、外来種について班に分かれて調べ学習を行ってきました。また、小笠原総合事務所の方にミカンコミバエの講話をしていただきました。当日は曇天で日差しは遮られましたが、電信山遊歩道までの上り坂や作業場所までの山道で汗がたくさん出るほどの気温でした。子どもたちも汗びしょりになりながら作業を行い、身をもって外来種駆除活動の大変さを感じることができていました。外来種駆除活動を通して、世界自然遺産小笠原諸島の自然を自分たちの手で守っていく認識が深まることを期待しています。



人権尊重教育ニュース

～生徒意識調査分析～

研究推進委員会 調査・環境部長

本校では、今年度人権尊重教育推進校として、「自分自身の考えを安心して伝えられ、他者の考えも大切にできる生徒の育成」を研究主題とした人権教育の研究にも取り組んでいます。5月27日に生徒の意識や日頃の生活の中での心の成長を把握するために、生徒意識調査を実施しました。今回は、「自分に関すること」「他者に関すること」「道徳の授業に関すること」の3つの観点から質問を行いました。※回答者数50名

【自分に関すること】

「自分には良いところがあると思う」の質問に肯定的に答えた生徒は32人いましたが、一方で否定的な回答も一定数見られ、引き続き支援が必要であると感じています。

また、「自分の考えを安心して伝えられる相手」としては、「家族」が最も高く、「友達」、「先生」の順でした。中でも友達との関係は比較的良好である一方、教師との信頼関係をさらに深めていく必要があると感じています。

【他者に関すること】

「相手の気持ちを考えて行動できる」(47人)、「友達の意見を尊重できる」(47人)、「違う意見を聞いて、気持ちを想像できる」(42人)など、多くの生徒が他者への思いやりや理解を大切にしていることが分かりました。全体として、共感力や他者理解の力が高く、温かい人間関係を築く力が育ってきている様子がうかがえます。

【道徳の授業について】

「道徳が好き」「楽しみにしている」といった項目の肯定率は60%前後とやや低めで、学年が上がるにつれて関心が薄れる傾向が見られました。特に、自分の考えを「意欲的に発言できているか」という項目では否定的な回答が多く、生徒が安心して発言できる雰囲気づくりが課題となっています。

一方で、「他者の意見から新たな気づきがあった」などの問いには多くの生徒が肯定的に答えており、意見交換による学びは定着しつつあることがわかります。

今後も、生徒一人ひとりが自分の思いを安心して表現し、他者を尊重しながら学び合える環境づくりを進めていきたいと思えます。

遠泳大会のお知らせ

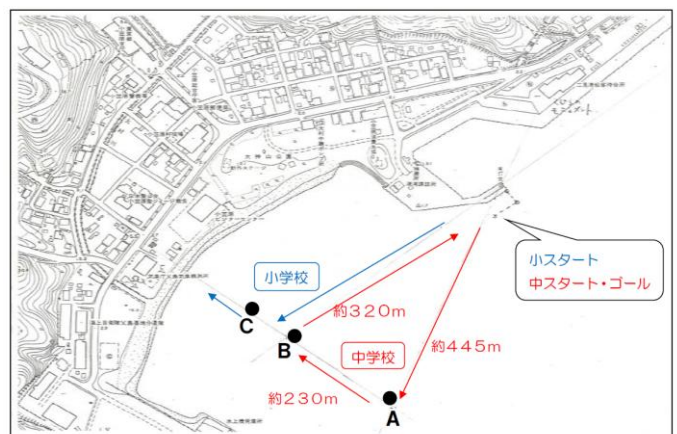
副校長 武田 悠

7月6日(日)に遠泳大会を開催いたします。中学生は、青灯台から黒岩周辺に設置したブイを周回して青灯台に戻る約1kmのコースで行います。大会当日は、生徒へのご声援をよろしくお願いいたします。また、併せて大会当日に向けてのご家庭での健康管理もどうぞよろしくお願いいたします。

今年度も、小笠原支庁、小笠原島漁業協同組合、海上自衛隊父島基地分遣隊、警視庁小笠原警察署、海上保安庁小笠原海上保安署、小笠原海運父島営業所、小笠原村観光協会、小笠原村診療所、小笠原スキューバダイビング安全対策協議会、小笠原小中学校PTAをはじめとする多くの皆様のご支援とご協力をいただき、遠泳大会を開催できる運びとなりました。誠にありがとうございます。当日もどうぞよろしくお願いいたします。

当日の予定

- 9:00 生徒集合
- 9:10 開会式
- 9:40 中学校遠泳開始
- 10:40 中学校終了
- 10:50 閉会式



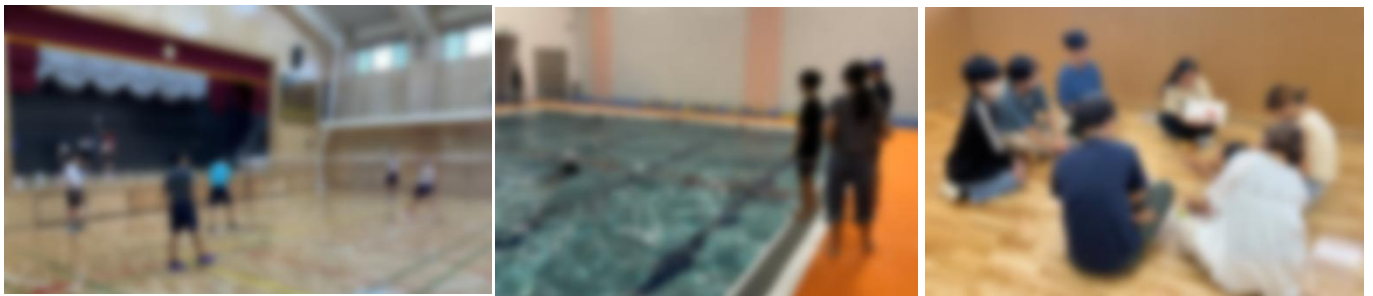
新体育館・プール棟完成!!

副校長 武田 悠

令和4年夏から始まった新体育館・プール棟の建設工事が終了し、5月末より利用がスタートしました。プールでは早速遠泳大会に向けて、個々の泳力向上を目指し、各学年の保健体育科の授業で水泳指導が行われています。各泳法についてポイントを確認し、3人組で互いの泳ぎ方を確認しアドバイスしながら学びを深めています。

体育館では、バレーボール部やバドミントン部の生徒が夏の大会に向けて練習に励んでいます。ネットを張るための支柱も新調していただきましたので、生徒は真新しい環境に気持ちが高まり、これまで以上に意欲的に活動に臨んでいます。また、隣接する軽運動室では、今年度新設されたダンス部の生徒がダンスの創作に一生懸命取り組んでいます。前面に大きな鏡が用意されているため、振り付けの確認するのに非常によい環境となっています。また、外部講師を招いた交流授業も行っています。

今後、総合発表会や音楽発表会など、生徒が新体育館で行う行事が数多くあります。新しい体育館でも、それぞれの持てる力を存分に発揮しながら、大いに活躍して行ってほしいです。



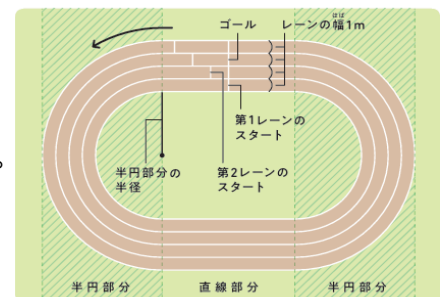
おが中の教室から ～おが中授業紹介コーナー～



数学科授業紹介

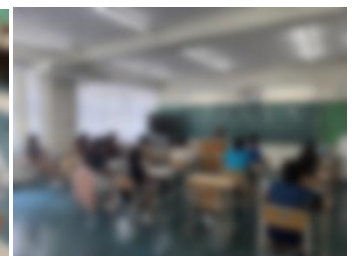
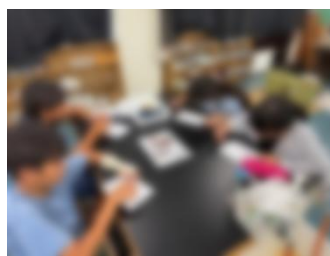
数学の学習はどの学年でも年度当初は基礎基本の計算から始まります。1年生は正負の数の計算、2年生は文字式を使った計算と説明、3年生は式の展開や因数分解。どの内容もしっかり学習しないと次年度以降の数学の学習に大きな影響を残す内容です。しっかり身に付けてほしいと思っています。

2年生の授業では「運動会のリレーなどトラック競技ではスタート地点は何mずらせばよいのか」ということを、文字式を使いながら考え式で表現しました。文字式は数学の世界以外で使うことはあまりないですが、「身近なことを数式で表し考えること」と「計算力」は、大人になった今でも普段の生活の何気ない場面で多く使っています。数学の知識自体は大人になって使うことはあまりないかもしれませんが、これらはとても重要な力です。しっかりした計算力を身に付けるといちいち携帯から電卓アプリを起動して〜とやるよりも頭の中で概算する方が圧倒的に早い場合が多いです。「よりよく生きる」ために、生徒には中学校数学を通して少しでも計算力を身に付けてほしいと思っています。



理科授業紹介

1年生の理科の授業では、生物の分類を行っています。身近な生物をグループに分けていくときに注目する特徴などを、みんなで探しながら授業に取り組んでいます。動物の分類では脊椎動物であるカタクチイワシ(煮干し)の解剖から始まり、脊椎動物を分類するときに注目する特徴を探すための「私は誰でしょう」ゲームを行いました。



自分がどの動物に割り当てられたのかを YES or NO で答えられる質問で見つけ出そうというものです。質問を通して、どのような特徴に注目すればグループ分けしていけるのかをよく考えられていました。

7月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
	1 SC勤務日 自転車安全点検 学校朝礼  安全指導 海練習5・6h	2 	3 SC勤務日 小中合同避難訓練 海練習5・6h	4 三者面談(始) 期末考査反省	5 	6  遠泳大会 (延期の際は休日) 英検2次(PM)
7 振替休業日 (延期の際は授業日)	8  食育講話	9 3年生校内研究授業 (5時間授業) 1・2年生4時間授 業	10 お弁当の日 	11  セーフティ教室 バレーボール部遠征(始)	12 遠泳大会予備日	13
14 	15 三者面談(終)	16	17  サッカー部・野球部 遠征(始) 	18 終業式	19 夏季休業日(始) バレーボール部 島しょ大会 	20   バドミントン部 遠征(始)
21 海の日 サッカー部島しょ 大会 野球部都大会 	22 サッカー部島しょ 大会順位決定戦 	23   バドミントン部都 大会(団体戦) サッカー部都大会 	24 バドミントン部都 大会(個人戦) 	25	26  	27
28 南アルプス市親善交 流会(始)	29	30  	31 南アルプス市親善交 流会(終)			

8・9月の主な予定

- ・8月12日(火)～8月15日(金)…学校閉庁日
- ・8月28日(木)…始業式 発育測定 自転車安全点検 情報モラル教室
- ・8月29日(金)…役員会・各種委員会・中央委員会
- ・9月 1日(月)…村防災避難訓練(予定)
- ・9月 8日(月)…運動会練習(6時間授業)
- ・9月10日(水)…2年生校内研究授業(5時間授業) 1、3年生:4時間授業
- ・9月12日(金)…食育講話
- ・9月17日(水)…お弁当の日
- ・9月19日(金)…生徒会役員選挙
- ・9月24日(水)…連合運動会予行(4時間授業)
- ・9月28日(日)…第2回英検(一次)
- ・9月 3日(水)…芝生の日
- ・9月16日(火)…運動会練習(小笠原高校 5・6h)
- ・9月18日(木)…運動会練習(小笠原高校 5・6h)
- ・9月22日(月)…運動会係会 14:40～
- ・9月27日(土)…小中高連合運動会
- ・9月30日(火)…2学期中間考査計画

セーフティ教室について

小笠原海上保安署署員の皆様にご協力をいただき、今年度のセーフティ教室を下記の通り実施いたします。ご多用の折とは存じますが、多数の方の参観をお願いいたします。

日 時	令和7年7月11日(金) 午前11時20分～午後0時10分
場 所	新体育館
内 容	薬物乱用防止について



夏季休業中平日の学校閉庁日について

7月19日から8月27日まで、本校は夏季休業期間となります。期間内において、土曜・日曜・祝日以外にも平日である8月12日(火)～15日(金)は、学校閉庁日とさせていただきます。この期間につきましては、平日ですが職員は不在となりますので、あらかじめご了承ください。

